

事業所名

放課後等デイサービスはぐくむ下土狩駅前教室

支援プログラム

作成日

令和6年

4月

1日

法人（事業所）理念		「発達に課題を抱えるお子様の成長と自立をはぐくむ」「子どもながらに楽しむことで、主体性、創造性をはぐくむ」「地域を知る、地域に知ってもらうことで社会性をはぐくむ」という3つを目標に掲げ、スタッフ全員が一丸となり業務に取り組んでいます。					
支援方針		「社会性スキルの育成」「生活スキルの育成」「学習スキルの育成」を3つの柱に、お子様の特性に応じたソーシャルスキルトレーニングを実施します。屋内外での活動や遊びを通して五感を使いながら創造力・表現力・集中力・思考力を育てるようサポートすると並行し、学習では宿題や自立課題の教材（個別作業）、様々な学習プリントを用意。スモールステップの積み重ねにより、できた喜びや達成感を大切にし、自己肯定感を育てます。また、将来の就労や生活を見据え、お子様とご家族に寄り添った支援を行います。					
営業時間		9時	0分	17時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支援内容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ●荷物の整理・管理や玩具の片付け、身だしなみ、入室時・トイレ後・おやつ前後の手洗い、食事や学習時の姿勢保持やマナー、あいさつ等、基本的な生活スキルを身に付け、習慣化できるよう支援します。 ●スケジュールの把握には全体または個人専用のボード等を準備し、活動の切り替え時にはタイマーを使用する等、子どもたちが見通しを持って不安なく過ごせるよう支援します。 ●学習室、作業室（ボードゲームやプラ板等机上の遊び場）、静養室と活動別の個室を設ける他、特別な支援が必要な児童には専用の机・イスを用意し、子どもたちが安心できる生活環境を整えます。 ●学休日や長期休暇時にはおやつ作りを企画し、簡単な調理体験や季節・行事の食事等を学ぶことで食への興味を促しながら食育にも繋げていきます。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ●公園や体育館（「鬼ごっこ」「だるまさんが転んだ」「ドッチボール」「卓球」「風船バレー」等の集団遊びや「アスレチック」「ブランコ」等の遊具遊び）、夏場は水遊び等の屋外活動の他、室内でもバランスボールやトランポリン等を提供し、様々な運動を経験する中で、楽しく遊びながら体幹、バランス感覚、空間認識、手眼協調等の身体能力を鍛えます。 ●余暇時にはプラ板やアイロンビーズ、塗り絵、折り紙、段ボール工作、粘土、スライム等の遊びを日常的に提供することで、様々な材質に触れ、道具の使い方を学び、指先や認知のトレーニングに繋がります。 ●子どもたちの感覚の特性（過敏・鈍麻）を踏まえ、適切な温度・照明の管理を行なう他、必要に応じてイヤーマフの提供や視覚的な情報の低減等、安全で快適な環境を整えます。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ●スケジュールのタイムテーブル表示やタイマーでの時間管理（日付・時間の把握）、余暇時間の粘土・スライム（物質の変化と感覚の認知）やパズル・カードゲーム（記憶力・問題解決力）、レゴブロック・ラキュー（空間の把握）遊びの提供等により、多様な認知機能の発達を促進します。 ●予定・時間・身支度等、自己管理能力を高めるために、必要に応じてトークン等を活用し、ポジティブな行動を強化します。 ●学習や遊びにおいて日常的に小さな成功体験をつみ重ね、満足感や達成感を味わうことで自己肯定感を高めていけるよう支援します。 ●他者との関わりの中で喜怒哀楽の様々な感情を体験し、適切に表現する方法をともに考えます。 ●ストレスの管理やリラクゼーションする方法等を指導し、情緒が不安定な時に自分で感情をコントロールできるようサポートします。 					
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ●個々の障害特性に応じて、読み書き能力や語彙力を向上させるための学習教材を準備します。 ●本棚の設置や定期的な公共図書館の利用により日常的に本に触れる環境を作り、文字や文章の理解力向上や自己表現の増幅を促します。また、帰りの会や集団活動前の隙間時間には絵本の読み聞かせを行なうことで、語彙の増加や理解力向上、他者との意識疎通のスキルを育てます。 ●集団遊びや他者との関わりを通して、相手の話を理解しながら自分の気持ちを適切な言葉遣いや表現で伝えられるよう指導し、日常会話のスキルアップに繋がります。 					
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ●集団遊びでは「氷鬼」「ドロケイ」「ドッチボール」「風船バレー」等を提案し、仲間と協力して取り組むことや喜び・悔しさを共有すること、ルールを理解し守ることの大切さや素晴らしい経験を学んでいきます。 ●公園、体育館、図書館等の公共施設の日常的な使用により、社会的なルールやマナーを身に付けます。 ●おやつは飽きのこないよう常時複数種類用意し、50円、30円、20円、10円の金額設定をして自ら好きなものを50円分選ぶシステムにすることで、自己表現力や自己決定力、計算能力や計画性等を高め、さらには買い物という日常生活での実践的なスキルの習得に繋がっていきます。 ●毎月2回のレクリエーション企画では、買い物や外食の体験、電車・バス等の公共交通機関の利用、消防署や警察署の見学を実施するなど、様々な社会体験イベントを提案します。 					
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ●家族の要望に沿った送迎支援を行います。送迎範囲内（長泉町内）であれば、自宅以外に塾や親族宅等、指定場所への送迎も承ります。また、家族の事情に合わせ、学休日は朝8時からの受け入れを行いません。 ●自宅送迎時に保護者へ当日の子どもの過ごしの様子を報告する他、Lineや電話等で緊密に連絡を取り合っており、情報共有を行いません。また、随時相談も承り、解決に向けて必要に応じて関係機関と連携を図ります。 ●半年に1回、個別支援計画面談を実施します。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ●必要に応じて、保護者、学校、相談支援事業所、併用他事業所と担当者会議を実施する等して情報共有を行ない、統一支援ができるよう連携を図ります。 ●進学や就職等、次のライフステージへの移行を控えた児童には、学習等で個別に必要なスキルのトレーニングを行います。 	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ●図書館や体育館等、地域の公共施設を日常的に利用し、地域資源を活用します。 ●毎年12月の「障害者週間」では、子どもたちが作品を制作し、町内商業施設等での啓発活動に参加・貢献しています。 ●年1回開催されている地域のお祭りに出店し、地域住民と交流を持つことで事業所の認知度向上と地域との関係強化に繋がっています。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ●月1回以上の内部研修（児童虐待防止、身体拘束、熱中症予防、感染症予防、児童の特性に応じた事例検討、児童の進路など）実施に加え、外部研修にも積極的に参加し、最新の知識と実践的なスキルを学んでいます。 ●年3回の避難訓練（児童参加）及び嘔吐処理ロールプレイ、年1回の防災訓練（消火・通報）及び防犯訓練を実施し、災害時や有事への対応力を高めています。 ●職員が働きやすい環境の整備やライフワークバランスの推進に努めています。 	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ●毎月2回、レクリエーションイベントを企画（令和6年度の企画：進級・進学を祝う会、お花見、年間行事に関連した季節の工作やおやつ作り、流しそうめん、遠くの公園へのピクニック、レストランでの外食〈ガスト〉、買い物、公共交通機関を利用した社会体験〈電車に乗ってマクドナルドで外食〉、公共施設や商業施設へのお出かけ〈静岡科学館「るくる」・オラッチェ〉、クリスマス会、節分、職業体験〈就労B型〉）。 ●児童のお誕生日会の実施。 ●母の日のカーネーション贈呈。 						